

平成18年度

事務事業評価票総括票

B 公の施設型

No. 2109001

元離宮二条城



施設の概要

所在地	京都市中京区二条通堀川西入二条城町541番地		所管局部課等	文化市民局元離宮二条城事務所		設置年月	昭和14年10月	
実施事業の概要	*二条城一般公開 *本丸御殿特別公開(例年 春・秋の2回) *市民大茶会(例年 春・秋の2回) *二条城ライトアップ *築城400年記念 展示・収蔵館一般公開(平成17年秋から公開開始 期間限定) *二の丸御殿障壁画模写 *お城まつり(今年度より秋季2ヶ月間各種イベントを実施)							
年度	利用状況の推移 (利用者数等)	年間経費の推移 (人件費を含めた運営経費)	うち京都市負担額	利用単位当たり 年間経費の推移	うち京都市 負担額	負担割合		
H15年度	1,440,340 人	567,931 千円	-259,667 千円	394 円 / 人	-180 円	(-45.7%)		
H16年度	1,257,777 人	484,306 千円	-218,608 千円	385 円 / 人	-174 円	(-45.1%)		
H17年度	1,274,066 人	488,725 千円	-211,761 千円	384 円 / 人	-166 円	(-43.3%)		

評価結果

- 1 役割分担評価 (平成 18 年度実施)

公共性評価	行政関与の妥当性	受益者負担の妥当性	実施主体の妥当性
選択・共同消費性	(最小-10~最大+9) +3	(最小0~最大+7) +4	経常的・一般専門性

- 2 業績評価 (平成17年度決算) 多いほど良い(5段階評価)

目標達成度		効率性	
良い	指標 (二条城入城者数)	年間経費	488,725 千円 = 384 円
	実績 1,274,066 人	利用者数等	1,274,066 人
	目標 1,440,340 人		
	= 88.5%	良くなった	

今後の方向性

現状のまま継続等	今年度より秋季の集客事業を「二条城お城まつり」と題して一体的にPRすることにより、周知効果や効率を高め、さらなる入城者数の増加を図り収入増を目指す。また、老朽化が著しくなっている二の丸御殿や本丸御殿などの文化財建築物を中心とした城内施設について、より良い姿で後世に継承し、多くの市民や観光客を迎えるのにふさわしいものにするため、文化財保護や防災などの観点から、計画的な保存整備を進める。
----------	---

見直しの方策

役割分担の観点	目標達成度の観点	効率性の観点	サービスの質の観点
市民や観光客等不特定多数の人に文化サービスを提供する施設であるため、引き続きサービス向上に向けた取組を行う。また、効率的な運営を図るため、現在、業務の一部を委託しているが、引き続き定型的業務の運営方法の見直しを図る。	二条城の魅力を多くの人に堪能していただける事業を引き続き実施していくとともに、更なる文化サービス、広報活動の強化にも努め、入城者の誘致を図る。	引き続き、経常経費の抑制に努めるとともに、入城者数の増加を図り、利用単位当たりの経費を減少させる。	

平成18年度

事務事業評価票

B 公の施設型

施設の概要

No. 2109001

1 施設名(愛称)	元離宮二条城 http://www.city.kyoto.jp/bunshi/nijojo/	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会 <input type="checkbox"/> 特別会	2 所管局 部課等	文化市民局元離宮二条城事務所		
3 所在地	京都市中京区二条通堀川西入二条城町5 4 1 番地		4 設置年月	昭和14年10月		
5 上位施策	主たる上位施策 2125 豊かな文化資源を生かした芸術文化の振興		主たる上位施策の政策評価結果 京都市基本計画等における位置付け	施策の総合評価		
	従たる上位施策			客観指標評価		
	従たる上位施策			市民生活実感評価		
6 施設設置目的	市民の文化の向上及び発展に資するため。一般の観賞の用に供するため。					
7 施設設置根拠 (法令, 条例, 規則等)	元離宮二条城条例					
8 施設の概要	設備の概要	敷地面積	274,548	m ²		
		延床面積	10,735	m ²		
	市民や観光客の入城, 見学の対応をはじめ, 国宝二の丸御殿, 重要文化財本丸御殿等の施設管理及び庭園管理を行っている。本丸5棟 二の丸23棟 二の丸庭園 清流園他					
	実施事業の概要 *二条城一般公開 *本丸御殿特別公開(例年 春・秋の2回) *市民大茶会(例年 春・秋の2回) *二条城ライトアップ *築城400年記念 展示・収蔵館一般公開(平成17年秋から公開開始 期間限定) *二の丸御殿障壁画模写 *お城まつり(今年度より秋季2ヶ月間各種イベントを実施)					
環境に優しい施設の整備状況 (単位: kw, m ² , m ³ , Kcal/h等)	環境負荷低減技術		規模	単位	環境負荷低減技術	
	<input type="checkbox"/> 太陽光発電				<input type="checkbox"/> 廃棄物発電	
	<input type="checkbox"/> 太陽熱利用				<input type="checkbox"/> 廃棄物熱利用	
	<input type="checkbox"/> 太陽光野外灯				<input type="checkbox"/> 透水性舗装	
	<input checked="" type="checkbox"/> 雨水・井水利用		960	t	<input type="checkbox"/> 屋上・壁面緑化	
	<input type="checkbox"/> 風力発電				<input type="checkbox"/> グリーンベルト(生垣の緑化)	
	<input type="checkbox"/> 井水・地中熱				<input type="checkbox"/> 敷地緑化	
<input type="checkbox"/> コージェネレーション				<input type="checkbox"/> ピオトープ		
<input type="checkbox"/> 燃料電池				<input type="checkbox"/> その他()		
料金体系	料金区分					
	主な料金	一般料金600円 高等学校・中学校生徒350円 小学生200円 ただし, 一般は30名以上で500円 学齢に達しない者の入城は無料				
	減免内容	*敬老乗車証・福祉乗車証・身体障害者手帳等の提示者を入城料免除 *養護・盲・聾学校等又は京都市内小学校が学校行事として団体鑑賞に参加する小学校6年生を入城料免除 *京都市内の小・中学生を対象に土・日曜日入城料免除				
利用料金制度		<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無			
施設運営方法	<input type="checkbox"/> 直接運営					
	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	指定管理者				
<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託		委託内容	改札・出札業務, 観覧案内業務			
直接従事職員数	京都市職員数	27人	(うち局長1人, 部長1人, 課長1人, 係長3人, 係員19人, 嘱託3人)			
	指定管理者職員数	人				
合計		27人				
9 京都市内の類似施設	本市所管					
	府所管					
	国所管					
	民間・その他					
						の当 相施 違設 と左 記施 設と

B 公の施設型

No. 2109001

施設名 元離宮二条城

10 取得費等の情報 (千円)	取得費及び財源内訳		平成17年度末残高		(備考)		
	土地取得費	建物取得費	建物減価償却後残高	市債残高			
		979,157	677,831	624,000	減価償却の方法 ・定額法 ・残存価額ゼロ ・耐用年数 25 年		
	財源内訳		物品減価償却後残高				
	国庫・府支出金						
	市債						
	一般財源	970,853					
	寄付金等						
	物品(100万円以上)	15,040	9,344				
11 年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H15年度決算	H16年度決算	H17年度決算	H18年度予算	H19年度予算
		事業費・運営費 (+ + +)	299,236	267,717	277,447	390,817	388,454
		委託料	169,047	168,645	191,619	267,943	248,014
		警備委託料	20,198	20,198	20,198	19,679	19,350
		茶会運営委託料	5,533	5,315	5,315	5,316	5,316
		本丸御殿特別公開委託料	14,500	5,750	5,750	5,750	5,650
		改札業務委託料	25,561	22,133	22,055	22,155	21,800
		集客業務委託料	5,765	5,343	5,275	5,700	6,000
		その他	97,490	109,906	133,026	209,343	189,898
		需用費(光熱水費, 諸費等)	57,070	60,111	59,714	65,340	55,682
		役務費(通信運搬費, 保険料等)	31,177	25,758	23,862	24,133	23,975
		その他	41,942	13,203	2,252	33,401	60,783
		人件費(19年度は見込)	268,695	216,589	211,278	233,858	233,858
		年間経費 (+)	567,931	484,306	488,725	624,675	622,312
		国庫・府支出金	6,000	6,000	6,000	44,000	38,000
	使用料・手数料等	821,598	696,914	694,486	824,894	824,894	
	京都市負担年間経費 (- (+))	▲259,667	▲218,608	▲211,761	▲244,219	▲240,582	
	減価償却費	37,605	37,605	37,605			
	市債利子	1,482	4,399	6,478			
	京都市負担年間総経費 (+ +)	▲220,580	▲176,604	▲167,678			
備考	人件費は次の算式により算出している。 職員数 × (職位別平均給与 + 平均退職給与引当金繰入相当額) + 嘱託職員等実額 減価償却費は、初期投資のうち国庫・府負担分を控除した額を基礎としている。						
12 施設利用状況 等の推移	区分	H15年度決算	H16年度決算	H17年度決算			
	施設の総利用者数等 (単位; 人)	1,440,340	1,257,777	1,274,066			
	個別事業における利用状況等の推移						
	本丸御殿特別公開 市民大茶会	91,617 2,550	36,404 2,500	34,660 2,500			
	(参考) 利用単位当たり京都市負担額 (京都市負担年間経費 ÷ 施設の総利用者数等) (円)	▲180	▲174	▲166			
13 利用者満足度調査	実施の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	調査結果				
	実施時期(直近)						
	調査手法						
	調査数						

評価結果

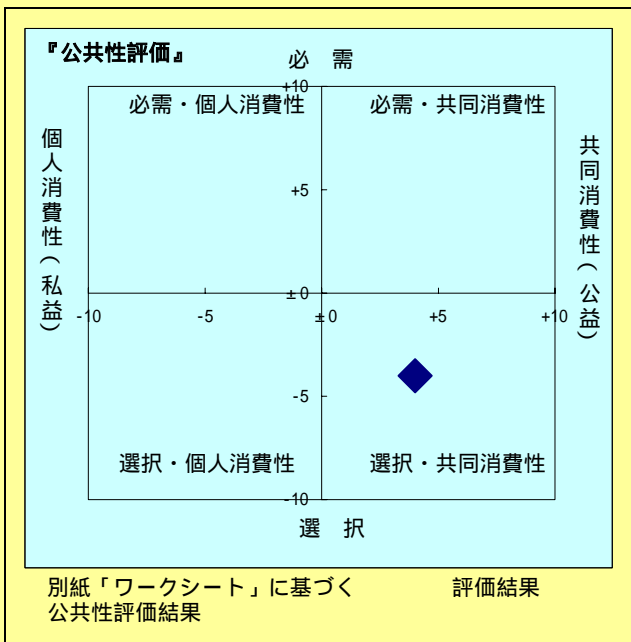
- 1 市民と行政の役割分担評価

No. 2109001

実施時期 平成 18 年度

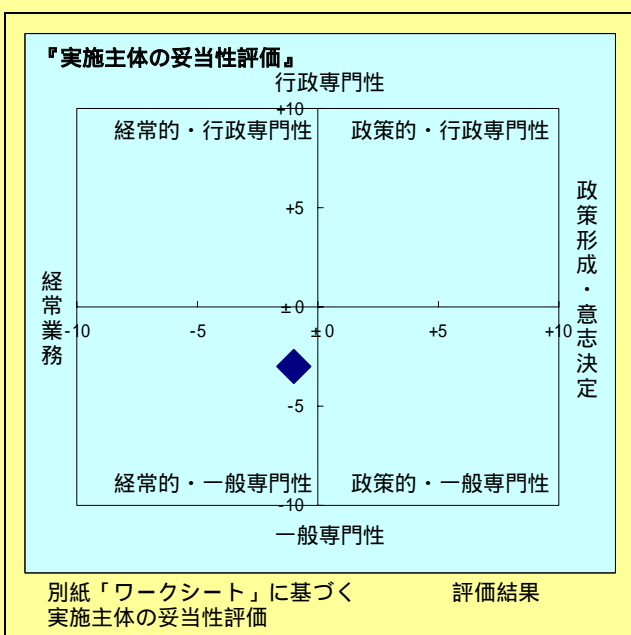
施設名 元離宮二条城

1 公共性評価	項目	評価点
共同消費性（公益性） / 個人消費性（私益性）の評価 必需性 / 選択性の評価	共同消費性（公益性）	+4
	必需性	-4
	判定	選択・共同消費性



第 4 象限	共同消費性が高くかつ選択的なサービスのエリア
評価結果	<p>より多くの人たちが利益を受けるが、欠かせられないかどうかはサービスを提供する人、される人の中で考えることができるようなサービスが含まれる。</p> <p>必要と考える人たちだけが必要なサービスを選択的に受ければよい。行政が少ない行政資源の中からサービスを提供しなければならないとすれば、一定の論拠を明示しなければならないし、その実際の関与も最低限にとどめるべきである。公益ではあるが、受益者負担を当然に考えるべきでもある。</p>

2 行政関与・受益者負担の妥当性評価	項目	評価点
行政関与の妥当性（最小 -10 ~ 最大 +9） 受益者負担の妥当性（最小 0 ~ 最大 +7）	行政関与の妥当性	+3
	受益者負担の妥当性	+4
3 実施主体の妥当性	項目	評価点
京都市における政策・戦略形成に係わる度合い 行政における専門知識・特殊技能に係わる度合い	政策性・戦略性	-1
	専門性	-3
	判定	経常的・一般専門性



第 3 象限	経常業務の度合いが高く、一般的なノウハウが必要なエリア
評価結果	<p>経常的かつ一般的なノウハウが要求される業務。</p> <p>業務の効率性、経済性などの観点から積極的に民間活力の活用を検討すべきエリアであり、市民サービスの確保や行政責任の確保などに留意し、当該事業の実施主体の民間委託化等を検討すべきエリアである。</p>

- 2 業績評価

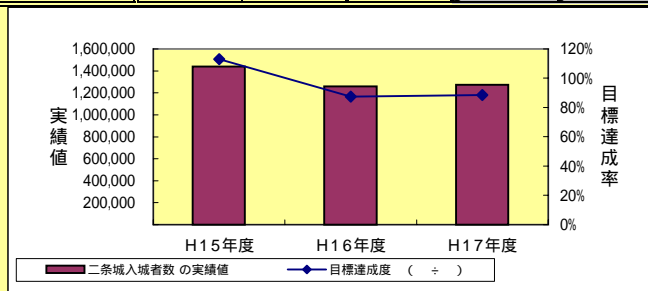
No.	2109001
施設名	元離宮二条城

1 評価

(1) 目標達成度

No.	区分	単位	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度予算	H19年度予算
目標達成度	二条城入城者数 の目標値	人	1,275,240	1,440,340	1,440,340	1,440,340	1,440,340
	二条城入城者数 の実績値	人	1,440,340	1,257,777	1,274,066		
	目標達成度 (÷)	%	112.9%	87.3%	88.5%		

指標の選択理由	世界文化遺産の二条城を多くの方に触れていただくことが目的であるため、入城者数を指標に選択した。
目標値設定の考え方	過去5年間の最大値(平成10年度1,275,240人・平成11年度1,221,147人・平成12年度1,139,440人・平成13年度1,183,480人・平成14年度1,275,240人)を目標値として設定。



(参考)

評価指標 (施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合いを把握できる指標)

評価指標	区分	単位	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度予算	H19年度予算
目標指標	本丸御殿特別公開観覧者数	目標値	人	83,680	46,000	46,000	46,000
指標の選択理由	重要文化財の本丸御殿を多くの方に触れていただくことが目的であるため、観覧者数を指標に選択した。	実績値	人	91,617	36,404	34,660	
目標値設定の考え方	過去の最大観覧者数の数値を目標値に設定。ただし、平成14・15年度は、築城400年を記念して例年より公開期間を延長したため、それに伴い目標値を変更。	達成度	%	109.5%	79.1%	75.3%	

評価指標	区分	単位	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度予算	H19年度予算
目標指標	市民大茶会の参加者数	目標値	人	2,500	2,500	2,500	2,500
指標の選択理由	茶会を通じて多くの方の市民文化の向上を図ることが目的であるため参加者数を指標に選択した。	実績値	人	2,550	2,500	2,500	
目標値設定の考え方	お茶券の発行総数を目標値に設定	達成度	%	102.0%	100.0%	100.0%	

評価指標	区分	単位	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度予算	H19年度予算
目標指標		目標値					
指標の選択理由		実績値					
目標値設定の考え方		達成度	%				

対象指標

主たる施設利用対象者層	観光客
対象者規模 (H17年度時点)	4,727万人 (平成17年度京都市観光調査年報)
対象者規模 (施設設置当初)	180万人 (昭和23年 昭和40年 京都市統計書)
規模の将来予測	観光施策を講じることにより、観光客数は増加する。

(2) 効率性

効率性	No.	区分	説明	単位	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度予算	H19年度予算
		施設の総利用者数等	施設の総利用者数等	人	1,440,340	1,257,777	1,274,066	1,316,525	1,316,525
		年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	千円	567,931	484,306	488,725	624,675	622,312
		利用単位あたり経費	÷ × 1000円	円/利用単位	394	385	384	474	473
総利用者数等の考え方 施設の総利用者数等について用いた指標について記載してください	二条城入城者数を対象とした。			備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。					

(参考) 施設のコスト改善等、効率性の評価を行う上で参考となる目標設定指標及びこれまでの経緯を記入してください

その他の指標	区分	単位	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度予算	H19年度予算
目標指標	目標値						
指標の選択理由	実績値						
目標値設定の考え方	達成度	%					

その他の指標	区分	単位	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度予算	H19年度予算
目標指標	目標値						
指標の選択理由	実績値						
目標値設定の考え方	達成度	%					

その他の指標	区分	単位	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度予算	H19年度予算
目標指標	目標値						
指標の選択理由	実績値						
目標値設定の考え方	達成度	%					

(3) 受益者負担比率

受益者負担比率	No.	区分	説明	単位	H15年度	H16年度	H17年度
		年間経費	施設の事業費・運営費・人件費及び初期投資額の合計額	千円	472,891	437,726	434,255
		受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	千円	738,584	619,496	627,553
		受益者負担比率	÷	%	156.2%	141.5%	144.5%

2 現状分析

(1) 目標達成度

				目標達成度分析
目標達成度	H15年度	H16年度	H17年度	17年度の目標達成度は築城400年記念事業で大幅増になった平成15年度の入城者数を目標値としているため、100%に満たなかったものの昨年度を上回り、各種集客事業の取組みの効果ができているとみられる。
目標達成度	112.9%	87.3%	88.5%	
評価	かなり良い	良い	良い	
かなり良い：100%以上				
良 い：100%未満80%以上				
普 通：80%未満50%以上				
悪 い：50%未満30%以上				
かなり悪い：30%未満				
参考指標	H15年度	H16年度	H17年度	
評価指標	109.5%	79.1%	75.3%	
評価指標	102.0%	100.0%	100.0%	
評価指標				

(2) 効率性

				コスト分析
効率性	H15年度	H16年度	H17年度	年間経費はほぼ昨年度と変わりがないが、総利用者数が増加したことにより利用単位当たりの経費は減少しており、高い効率性を維持している。
施設の総利用者数等	1,440,340	1,257,777	1,274,066	
年間経費	567,931	484,306	488,725	
利用単位当たり経費	394	385	384	
単位当たり経費変動率		-2.3%	-0.4%	
評価		かなり良 くなった	良 くなった	
参考指標	H15年度	H16年度	H17年度	
その他の指標				
その他の指標				
その他の指標				

今後の方向性

今後の方向性	現状のまま継続等	<p>(具体的な内容)</p> <p>今年度より秋季の集客事業を「二条城お城まつり」と題して一体的にPRすることにより、周知効果や効率を高め、さらなる入城者数の増加を図り収入増を目指す。また、老朽化が著しくなっている二の丸御殿や本丸御殿などの文化財建築物を中心とした城内施設について、より良い姿で後世に継承し、多くの市民や観光客を迎えるのにふさわしいものにするため、文化財保護や防災などの観点から、計画的な保存整備を進める。</p>
--------	----------	--

見直しの方策

No. 2109001

施設名 元離宮二条城

評価結果		改善・見直しの方策案	
市民と行政の役割分担評価	公共性	廃止, 休止, 縮小, 外部委託化, 民営化などの方向性 (役割分担評価実施時期 平成 18 年度)	
	選択・共同消費性	市民や観光客等不特定多数の人に文化サービスを提供する施設であるため, 引き続きサービス向上に向けた取組を行う。また, 効率的な運営を図るため, 現在, 業務の一部を委託しているが, 引き続き定型的業務の運営方法の見直しを図る。	
	行政関与の妥当性		
	+3		
	受益者負担の妥当性		
	+4		
	実施主体の妥当性		
経常的・一般専門性			
業績評価	目標達成度	H17年度 目標達成率	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など
		88.5%	二条城の魅力を多くの人に堪能していただける事業を引き続き実施していくとともに, 更なる文化サービス, 広報活動の強化にも努め, 入城者の誘致を図る。
		評価指標	
		75.3%	
		評価指標	
		100.0%	
	評価指標		
	効率性	H16年度	執行方法の見直しなどの効率化のための目標及び方策など
		かなり良くなった	引き続き, 経常経費の抑制に努めるとともに, 入城者数の増加を図り, 利用単位当たりの経費を減少させる。
		H17年度	
良くなった			
受益者負担	H17年度 受益者負担比率	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	
	144.5%	超過な受益者負担の適正化に向けて, 観覧に耐えうる施設を維持すべく, 保存・整備に必要な経費を充実させたい。	
アンケート調査など	サービスの質	市民アンケート調査等の結果	サービスの迅速性や利便性など, 利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方策など
環境に配慮した取組			